

《養成講座の内容》

◎養成講座は、グループ研修と講義で構成されています。

◎グループ研修は土曜日の午前、又は午後の2時間～2時間半の予定です。時間帯は応募状況により決定します。講義は原則として月1回、土曜日の午前または午後の2時間で実施します。

—過去の実施例—

1年目『電話相談の基礎を学ぶ』

第1課程

6月～9月

- グループ研修（月2回程度）
『心の動きに目を向けるワーク』
- 講義
 - ・「『いのちの電話』の基本理念とその相談の在り方」
永原伸彦（茨城カウンセリングセンター）
 - ・「養成講座の学び方」
寺川亜弥子（臨床心理士）
 - ・「いのちの電話の相談員になるということ」
杉江 征（筑波大学）
茨城いのちの電話研修スタッフ

第2課程

10月～1月

- グループ研修（月2回程度）
『聴き方のトレーニング』
- 講義
 - ・「精神障害」
堀 孝文
（県立こころの医療センター）
 - ・「家族」
三輪壽二（茨城大学）
 - ・「思春期」
守屋英子（臨床心理士）
- 宿泊研修（2泊3日・必修）
『互いを知り深める研修』※

第3課程

2月～5月

- グループ研修（月2回程度）
『電話相談の対応について学ぶ』
- 講義
 - ・「危機介入」
大滝 優（筑波大学）
 - ・「働く人のメンタルヘルス」
矢嶋敬紘・沼田世里
（茨城大学）
 - ・「聴くということ」
杉江 征（筑波大学）
- **進級式**

2年目『電話相談の実際を学ぶ』

第4課程

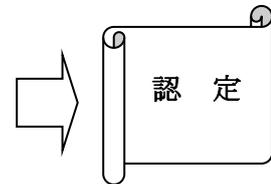
6月～10月

- 電話担当実習（月1～2回）
- グループ研修（月1回）
- 講義
 - ・「精神障害者への理解と対応」
大久保文代（地域活動支援センター）
 - ・「性に関わる電話への理解と対応」
茨城いのちの電話研修スタッフ

第5課程

11月～3月

- 電話担当実習（月2回）
- グループ研修（月1回）
- 講義
 - ・「いのちの電話の理念と役割」
半田一郎
（子育てカウンセリングリソースポート）



※宿泊研修は必須としておりますが、感染状況を鑑みて2日間日帰りの集中研修とする場合もあります。

認定について

出席状況や学習状況によっては、次の課程に進めないこともあります。
認定の判断は、第5課程終了後、総合的に評価して行われます。

《2021年度の研修にご協力いただいた方々》

池田 名緒子（恵和社会復帰センター）	西村 由紀（NPO メンタルケア協議会）
伊藤 次郎（特定非営利活動法人 OVA 代表）	沼田 世里（茨城大学）
大滝 優（筑波大学）	半田 一郎（子育てカウンセリングリソースポート）
小原 昌之（茨城カウンセリングセンター）	人見 健太郎（みとカウンセリングルームどんぐり）
北川 恭子（カウンセラー）	堀 孝文（県立こころの医療センター）
佐藤 康江（臨床心理士）	松田 瑞穂（株式会社日立製作所 日立総合病院）
正保 春彦（茨城大学）	松野 好子（臨床心理士）
杉江 征（筑波大学）	三輪 壽二（茨城大学）
高岡 美記（みとカウンセリングルームどんぐり）	森本 純代（臨床心理士）
寺川 亜弥子（臨床心理士）	守屋 英子（臨床心理士）
土井 隆義（筑波大学）	矢嶋 敬紘（茨城大学）
永原 伸彦（茨城カウンセリングセンター）	

（五十音順・敬称略）